

	グループ名	学科	学年	発表テーマ	発表概要
1	チームSMS	情報工学科	3年	学都・ATG(あつぎ)	厚木市には多くの大学が点在しており、たくさんの学生が県外からも集まっている。しかし、卒業生も厚木に残りたいと考えている学生が少ないことが分かった。学生と地域社会との「絆」を強めていくことが厚木の活性化につながるのではないだろうか。
		情報工学科	3年		
		情報工学科	3年		
2	厚木健幸支援隊	ロボット・メカトロニクス学科	2年	「厚木健幸チャレンジ 神奈川工科大学杯」の開催	現在、各福祉施設のデイサービスでは、各施設ごとで運動機能向上プログラムが組まれている。私たちは、運動プログラムの個別化に注目し、運動は、大きなグループで楽しく行うことが、活気あるまちづくりにつながることであると考えた。そこで、大学の環境・施設を提供し、個々のデイサービスに通う高齢者を募り、身体の機能を用いたゲームを行う運動会を開催することを提案する。この運動会を通して、大学は地域の高齢者に対して、高齢者間のつながりや絆を作るきっかけを提案し、地域貢献を行う。
		ロボット・メカトロニクス学科	2年		
		ロボット・メカトロニクス学科	3年		
		ロボット・メカトロニクス学科	3年		
		ロボット・メカトロニクス学科	3年		
3	(N科4年生)	情報ネット・コミュニケーション学科	4年	ラジオ電波を利用した災害 時情報取得方法の提案	Android端末が普及しつつあるが、バッテリー大量消費が問題になっている。その原因は常にネット接続を行っていることである。そのため、端末のネット接続を切ることにより、バッテリー消費を抑えることができるが、この状態では情報取得が大幅に制限されてしまう。そこで、情報取得の手段として、電波受信モジュールとして情報を取得する。また、応用として各テレビ局が発信する「緊急警報放送」を受信することにより、災害発生後の緊急情報取得に役立てることができる。
4	緑系女子	応用バイオ科学科	1年	Green & Smile Project - 緑と笑顔を厚木へ -	厚木に緑を増やし、人が気軽に集まれる場所として、地域の人々が参加できる形で植物園を作る構想。緑と共に厚木市の人達の笑顔と交流が増え、より住みやすい厚木市へ。
		応用バイオ科学科	1年		
		応用バイオ科学科	1年		
		応用バイオ科学科	1年		
5	あつぎを元気に！	大学院機械工学システム専攻	1年	厚木市内の大学を道の駅に！	厚木市内には4つの大きな大学があります。平日は講義や研究で多くの学生がいますが、土日には学生も少なく、地域の人や観光などで厚木に来る方や厚木を通過する人々に広く開放し、利用してもらおう。大学には売店、トイレ、食堂もあり、工作を体験できる工房や、OCのように学生の研究を広く知ってもらうこともできます。地域の方と協力し、朝市やお祭りを催したりなどもでき、地域の活性化につながると思います。
		大学院機械工学システム専攻	1年		
		大学院機械工学システム専攻	1年		
6	娘娘(にゃんにゃん)	情報メディア学科	1年	親しみやすい厚木を目指して	厚木を5つに分けて、キャラ化する。地域外の人たちにも親しみやすくする。それを利用して、誰もが情報共有しやすいようなプラットフォームをつくる。
		情報メディア学科	1年		
		情報メディア学科	1年		
		情報メディア学科	1年		
		情報メディア学科	1年		